一般男子200メートル 蓮井トップ

白樺学園高2年

中学生女子走り高跳び 雁部（浦幌3年）自己新1メートル55

陸上フェス秋季記録会第1戦

最後にスパート 自己新2秒更新

岩舘

兼秋季記録会第1戦（道陸上競技協会、十勝陸上競技協会主催）が8日帯広の森陸上競技場で行われた。一般男子200㍍は蓮井健太朗（白樺学園高2年）が23秒12で1位だった。中学生女子走り高跳びは、雁部茅波（浦幌3年）が自己新の1㍍55を成功させた。小学生女子800㍍は岩舘愛実（十幌6年）が自己新の2分32秒09で制した。（小寺奏介）

第19回北海道陸上競技フェスティバル帯広会場

○…小学女子800㍍は、岩舘愛実がラスト200㍍でスパートをかけると後続をぐんぐん引き離した。「今季の目標だった姉の6年生時の記録を更新できてうれしい」。自己記録を一気に約2秒縮める快走に笑顔がはじけた。

ジュニアオリンピック陸上競技大会（昨年10月・横浜市）にも出場した岩舘紗也（十幌中央中2年）の妹。800㍍を始めたのは今年からだが、中学生と速いペースでの走り込みをこなすなど厳しい練習に耐えて実力を付けてきた。

道小学校大会（7月・函館）予選では、400㍍まで1位だったものの、ラスト1周でスタミナが切れて5位に転落。今大会では「苦しくても、これからがスタート」と自分を奮い立たせて、ペースを上げた。中学ではバレーボール部に所属する希望があり「最後に良い思い出ができました」と話していた。

【一般男子200㍍】独走で制した蓮井健太朗

【中学生女子走り高跳び】最後の大会で会心の跳躍を見せた雁部茅波

【小学生女子800㍍】積極的なレースを展開し、集団をけん引する岩舘愛実

全国標準記録へ あと一歩の跳躍

雁部

○…「助走でスピードに乗り、うまくジャンプに力を伝えられた」。中学女子走り高跳びで1㍍55と自己ベストを更新した雁部茅波は今季最高の跳躍を振り返った。

道中学校大会（7月・札幌）では1㍍54を跳んで3位入賞。この日は練習でも跳んだことのない高さを初めて越え、充実した表情だった。

「空中でしっかりアーチを作れるようになった」と雁部。全国標準の1㍍57にも挑戦したが、わずかの差で失敗。もう一息のところまで来た。

「跳んだ時に足が引っかかって失敗することが多いので、腰をしっかり上げるよう意識するようにコーチから教わった」と何度もイメージトレーニングしてクリアした。中学で全国標準にまで迫る高さへ到達し「高校では全国で戦える力を付けたい」

全国見据え強い自覚

蓮井

男子200㍍の蓮井健太朗はスタートから滑らかに飛び出し独走で優勝をさらった。もはや十勝では敵なしだが「このままでは全国で戦えるレベルにない」と不満足だ。

自己記録からは約0・3秒遅れ。巧みなカーブワークでコーナーを抜けたが「軸ができていないので、足が弾んでくれない」と後半の伸び悩みを分析する。反省の言葉はかりが次々と出てくるのも、真剣に自分と向き合っているからだ。

全道新人大会（9月・帯広）では、100、200㍍共にまさかの準決勝敗退。正しいフォームを作って繰り返し走ることで、着地の際に腰が前方に折れ曲がる悪い癖を修正している最中。「ストライドさえ伸びれば、タイムは縮まる」と確信して自分と戦う。

冬は東海大練習メニューのハードルを使った重心移動やウエートで体幹を鍛え上げ「ぶれがない精密機械のようなフォームを手に入れる」と決意は固い。「主将の自分が一番練習して全国レベルの選手になり、チームを引っ張らなければならない」と強い覚悟を持って冬を迎える。

【陸上・成年女子100㍍決勝】11秒24の大会新で優勝し笑顔を見せる福島千里（大賀章好撮影）

福島 大会新で100を連覇

8日は山口市などで18競技を行い、陸上競技の成年女子100㍍決勝は、福島千里（北海道ハイテクAC・帯南商高出）が自身の日本記録まで0・03秒に迫る11秒24の大会新で2連覇。渋谷奈津美（3年・一縁南中出）と池田早紀（3年・音更中出）がメンバーのソフトボール少年女子のとわの森三愛高は、1回戦で山形選抜に2―0で勝った。（関保介）

歓声に笑顔で応える福島千里（大賀章好撮影）

「壁越える」成長へ自信

福島

▽…陸上女子100㍍の福島は、自身の持つ日本記録にあとわずかの11秒24。「いい条件で、体調もよかった。惜しかったという気持ちはある」と、少し残念そう。ただ、予選、準決勝と徐々にタイムを上げ、「ラウンドごとの調整がうまくいった」と手応えもあった。

今年の世界選手権では準決勝の舞台に立った。来年のロンドン五輪を見据え、「ここまで来たらもうひとつ（壁を）越えないといけない。準備はできていると思う」と話し、さらなる成長へ自信を示した。

（山口市維新百年記念公園陸上競技場）

陸上

卓球

【女子】◇成年100㍍▽決勝（追い風1・6㍍）＝①福島千里（北海道）11秒24・大会新

【男子】◇成年▽1次リーグC
○埼玉 3―1 北海道
○平屋 3―1 後藤
○塩野 3―0 久住

（萩市民体育館）

ソフトボール

【女子】◇少年▽1回戦
とわの森三愛高（北海道）
0000000000 2
0000000000 0
山形選抜

【と】石川―渋谷
【山】大村―高橋
▽三塁打＝池田（と）

○塩屋・胡
○福広・久住・高
○濱口・立田
○板倉・高田・後藤
石溝口・岡野・北海道
3―1
3―0
3―2
3―0
3―2
3―0
3―2

（宇部市東部体育広場）

榊（コンサU―18清水中出）天皇杯でゴール

榊翔太

札幌U―18のFW榊翔太（清水中出）が、トップチームの公式戦（天皇杯2回戦）に初出場し初ゴールを決めた。チームは延長の末、水戸に2―3で敗れたが、一時は勝ち越しとなる貴重な得点で存在感を示した。

高校生5人が出場した。榊は1―1で迎えた後半36分に途中出場し、そのわずか4分後に結果を出した。同40分にMF岡本賢明のスルーパスを裏に抜け出して受けると、そのままGKの股間を抜くシュートを決めた。榊は高円宮杯U―18プレミアリーグイーストで首位の札幌U―18のストライカー。得点ランキングも2位につけている。

▽2回戦

水戸ホーリーホック（J2）　2―2（0―0、2―0）　札幌（J2）
延長　3―0

▽得点者【水】小沢、ロメロランク、小池【札】横野、榊

女子ーH オータムカップ

FTS御影、加森破る

帯広Lは三星ダイトーに完敗

アイスホッケーのオータムレディースカップ（道アイスホッケー連盟主催）は8日、帯広の森アイスアリーナで開幕しフルタイムシステム御影グレッズ（前回5位）が2―0で前回4位の加森観光ベアーズ（釧路）を破り、準決勝に進んだ。帯広レディース（前回8位）は前回覇者の三星ダイトーペリグリン（苫小牧）に1―13で敗れた。御影は9日午後にペリグリンと戦った。最終日の10日は午前9時から順位戦で、決勝は午後4時半開始予定。（岡部彰広）

【帯広レディース―三星ダイトーペリグリン】第2ピリオド、帯広レディースは⑪白木利奈がゴールを急襲するが、惜しくもはじかれる

試合中に修正

帯広L

○…帯広レディースは昨年全国覇者の三星ダイトーペリグリン（苫小牧）に完敗。「相手はパスも何もかも速かったが、気持ちの弱さが出た」と岩渕郁恵副主将。

道大会初経験のGKに4人の中学1年生を加えた新布陣で臨んだ。緊張から動きが悪く、出だしからシュートを簡単に入れられた。元気が出ず声も途切れがちとなった。

それでもだんだん動きを取り戻し、最終ピリオドは攻められながらもスコア上は1―2と互角の展開。唯一の得点を挙げたコーチ兼任の安宅奈々は「試合中にだめなところを修正できたのは次につながる」と大敗の中にも光明を見いだした。

「内容は50点」

FTS御影

○…FTS御影グレッズが、昨年の全日本選手権で初めて撃破した強敵の加森観光ベアーズ（釧路）に、再び勝利を収めた。

9月にチーム練習が始まったばかりで、5対5の練習はまだしていない状態。最初は危険な位置から逆襲されるなど浮き足立っていたが、小野粧子主将の先制弾で落ち着きを取り戻した。小野主将は「内容としてはひどい。50点」と首をかしげたが、「今季の全日本でもまた戦う相手。いまの調子でも勝てるのは大きい。勝ちぐせもつけることができたと思う」と話した。

◇1回戦

三星ダイトーペリグリン（苫小牧）　13（7―0、4―0）　1　帯広レディース

▽得点者【三】①平野→坂上（1P8分16秒）②山本→高→惣田（1P8分22秒）③米山→杉澤→大澤（1P9分28秒）④平野→坂上（1P9分52秒）⑤山谷美→坂上（1P12分33秒）⑥惣田→小池（1P13分17秒）⑦平野→青木（1P15分22秒）⑧平野（2P2分9秒）⑨米山→大澤（2P10分）⑩大滝→月本（2P11分6秒）⑪坂上→青木（2P11分31秒）⑫惣田→小池（3P12分21秒）⑬青木→坂上→平野（3P19分21秒）

【帯】①岩渕→白木→安宅（3P15分26秒）

▽反則【三】1（山谷美）【帯】0

▽シュート数【三】78（27、31、20）【帯】9（3、3、3）

▽審判＝柴田、星、五十嵐

フルタイムシステム御影グレッズ　2（1―0、0―0）　0　加森観光ベアーズ（釧路）

▽得点者【フ】①武田→小野（1P9分4秒）②武田→小野→阿部（3P17分36秒）

▽反則【フ】5（武田、小野、国本、松下、中河）【加】3（石浦2、渡辺）

▽シュート数【フ】23（9、7、7）【加】29（6、12、11）

▽審判＝星、村瀬、馬渕

【男子】◇一般▽100㍍（向かい風0・5㍍）＝①高田雄斗（江陵高）11秒35◇200㍍無風＝①蓮井健太朗（白樺学園高）23秒12◇400㍍＝①杉村俊太郎（白樺学園高）52秒01◇800㍍＝①川上聡太（帯大谷高）2分2秒00◇1500㍍＝①松木智雅（白樺学園高）4分7秒60◇5000㍍＝①清水達也（足寄高）15分42秒42◇110㍍障害（向かい風0・8㍍）＝①大平裕章（釧路湖陵高）17秒37◇4000㍍リレー＝①白樺学園高A（竹内隼哉、河瀬遥紀、一圓光基、蓮井健太朗）43秒40◇走り高跳び＝①岡久拓人（釧路高専）1㍍90◇棒高跳び＝①長谷川裕倫（白樺学園高）4㍍50◇走り幅跳び＝①石橋尚晃（白樺学園高）6㍍90（追い風1・5㍍）◇三段跳び＝①石橋尚晃（白樺学園高）14㍍00（追い風1・1㍍）◇J砲丸投げ＝①山下善巳（帯農高）13㍍98◇円盤投げ＝①有富幸治（帯畜大）37㍍60◇J円盤投げ＝①澤邊翔平（帯農高）33㍍04◇ハンマー投げ＝①橋田晃（オホーツク陸協）46㍍34◇Jハンマー投げ＝①橋本耀介（帯農高）41㍍22◇やり投げ＝①堀遼太（帯農高）52㍍03

〈中学〉◇100㍍（向かい風0・1㍍）＝①志賀章宏（緑南）11秒69◇200㍍＝①類家大樹（帯五）23秒74◇400㍍＝①類家大樹（帯五）52秒52◇800㍍＝①杉本徹郎（帯翔陽）2分11秒69◇1500㍍＝①金子有輝也（帯西陵）4分29秒11◇3000㍍＝①伊賀克陽（音更）9分45秒94◇110㍍障害（向かい風0・7㍍）＝①吉田康記（共栄）17秒15◇4000㍍リレー＝①緑翔（菊池拓実、志賀章宏、比留間翔平、比留間竜平）46秒74◇走り高跳び＝①吉田諒太（広尾）1㍍65◇棒高跳び＝①川瀬亮平（音更）3㍍20◇走り幅跳び（追い風0・9㍍）◇砲丸投げ＝①上山竜平（帯二）6㍍06

〈小学生〉◇100㍍▽3年（向かい風0・6㍍）＝①大坂将平（忠類）17秒22▽4年（向かい風0・5㍍）＝①田所和士（十勝ク）15秒43▽5年（向かい風0・6㍍）＝①櫻井春誓（清水少）14秒28▽6年（向かい風0・7㍍）＝①二階堂陽輝（清水少）14秒44◇800㍍＝①佐藤駿也（十幌）2分43秒48◇1500㍍＝①天城陽太（利別少）5分15秒60◇走り高跳び＝①島康介（清水少）1㍍20◇走り幅跳び＝①大沼和樹（十勝ク）4㍍44（追い風0・4㍍）◇ソフトボール投げ＝①山口麓郎（鹿追）55㍍51◇砲丸投げ＝鈴木悠生（清水少）8㍍32

【女子】◇一般▽100㍍（向かい風0・9㍍）＝①鈴木綾乃（帯農高）13秒35◇200㍍（向かい風1・3㍍）＝①野々村茜（帯大谷高）27秒87◇400㍍＝①安孫子美希（帯三条高）1分4秒54◇800㍍＝①元木咲（帯三条高）2分34秒18◇1500㍍＝①加藤千尋（北見柏陽高）5分25秒65◇110㍍障害（向かい風1・4㍍）＝①北村心（釧路湖陵高）17秒61◇4000㍍リレー＝①帯農高（出口玲奈、鈴木綾乃、米津美憂、吉田明香里）53秒32◇走り高跳び＝①鈴木香織（帯大谷高）1㍍20◇走り幅跳び（追い風0・7㍍）◇砲丸投げ＝①吉田明香里（帯農高）4㍍83（追い風0・7㍍）◇砲丸投げ＝①佐藤あずさ（LALAC）14㍍02◇円盤投げ＝①堀部茜（帯農高）33㍍91◇ハンマー投げ＝①今本有紀（白樺AC）44㍍73◇やり投げ＝①堀部茜（帯農高）31㍍42

〈中学〉◇100㍍（向かい風1・1㍍）＝①真田知苑（本別）13秒39◇200㍍（向かい風0・8㍍）＝①斉藤唯（帯緑園）28秒82◇800㍍＝①武田美里（帯緑園）2分29秒09◇1500㍍＝①朴虹歩（浦幌）5分2秒88◇110㍍障害（向かい風1・0㍍）＝①真田知苑（本別）16秒50◇400㍍リレー＝①幕別（辻本ひより、詫間由佳、細田悠乃、栗田美里）55秒78◇走り高跳び＝①雁部茅波（浦幌）1㍍55◇走り幅跳び＝①宮井りん（音更）5㍍01（追い風2・1㍍）◇砲丸投げ＝①澤崎明日香（清水）9㍍73

〈小学生〉◇100㍍▽3年（向かい風0・3㍍）＝①藤澤光代（NAC）16秒28▽4年（向かい風0・8㍍）＝①三好あい菜（清水少）15秒61▽5年（向かい風0・6㍍）＝①臼井文音（十勝ク）14秒08▽6年（向かい風0・1㍍）＝①館末帆（十勝ク）13秒87◇800㍍＝①岩舘愛実（十幌）2分32秒09◇走り高跳び＝①杉山りお（上浦幌中央）1㍍15◇走り幅跳び＝①遠藤瑠花（幕別少）4㍍00（追い風2・0㍍）◇ソフトボール投げ＝①長尾海夏（十幌）48㍍01◇砲丸投げ＝①小野めぐみ（佐倉）7㍍15